

## 180 日間 FIP 生体保証

### 猫伝染性腹膜炎とは

現在、猫の世界には治療法が確立されていない不治の病として猫伝染性腹膜炎（FIP）という後天性の病気が存在します。猫腸コロナウイルスの突然変異により、どの猫にも発症する病気で病気にかかると残念ながらほとんどの猫は助かりません。FIP はその重大な結果に対し、要因や対処法がまだ確立されておらず、誤解を招きやすい病気であるとも言えます。

### 猫腸コロナウイルスとは

病原性が低くどの環境にも存在し、便やグルーミング、食器の共有、垂直感染などにより感染します。猫腸コロナウイルスを持たない猫を育てるためには、生後 30 日以内に猫のいない環境に引き取り完全無菌で育てる必要があると言われていています。このような理由により、猫腸コロナウイルスは人の手でブリーディングされた猫に関しては 100%保有していると言われていています。

本来、猫は単独生活を基本としているため、1 頭飼いと多頭飼いでは多頭飼いの方が FIP の発症率が高くなっており、突然変異のきっかけの一つとしてストレスが考えられています。一方で免疫力の低下も突然変異のきっかけと考えられています。壮齢期（1 歳～5 歳）での発症はあまり見かけられず、免疫力の低い 1 歳までの子猫、老齢の猫に発症が見られます。

### FIP 抗体価検査とは

この検査は猫コロナウイルスの抗体価を調べるもので、FIP の直接的な原因である猫伝染性腹膜炎ウイルスと病原性の貧しい猫腸コロナウイルスの区別はできません。したがって、抗体価が高いからといって必ずしも FIP に感染しているとは限らず、症状の経過や再検査をしながら判断していかなければなりません。

### 180 日間 FIP 生体保証

プラン A（費用：10,000 円 保証限度額：10 万円）

プラン B（費用：猫ちゃんの譲渡費用の 10% 保証限度額：猫ちゃんの譲渡費用）

加入する                       加入しない      （プラン A ・ B ）

※加入する場合はお引き渡しから 3 日以内にご連絡のうえ 3 日以内にお振込みください。

※保証期間は子猫の引き渡し日より 180 日間となります。

※発症したことがわかりましたら 2 日以内にご連絡ください。

※保証の場合 2 か所以上の動物病院の獣医師による診断書等の書類をご提出下さい。病院代（診断書作成費含む）、交通費、飼育用品等は含みません。

## 猫の風邪と軟便について

### ○子猫の風邪について

「風邪のキャリアだと生きられない」などネット上には誤った情報が多々あります。風邪はケアをすれば治るものです。また、生き物ですので何のウイルスもなく健康状態が全てにおいてパーフェクトな猫は、人間と同じようにはいないというようにお考えください。

体がしっかり出来上がってくると、風邪のキャリアであったとしても症状はやわらぎ普通に生活ができます。お世話になっている獣医師の先生によりますと、猫風邪のキャリアかどうかというのは、「多少意味合いは異なりますが、生まれてから一度もインフルエンザにかかったことがない人間かどうか、というようなレベルのものです」とのことです。

### ○子猫の軟便について

子猫のうちは些細なことでお腹を壊しやすいです。検便検査をして寄生虫や菌がでなくても軟便の場合は、腸が疲れていたりフードが合わない、などの理由が考えられます。猫が元気な場合は、食事を1回抜いたり、普段のご飯の量を4回に分けて少量ずつ与えて腸を休めたりすると症状がよくなったりします。

また、乳酸菌が入ったサプリメント(マイトマックス)や食物繊維が豊富なサプリメント(ヤーバプリマサイリウム)などを試すことも効果的です。これらは、獣医師にお勧めいただいたものです。フードもサイエンスダイエットのキトンではなく、グレインフリーの高品質のフードへの変更で良くなる場合もございます。

子猫は生まれたばかりの赤ちゃんと一緒にです。お引渡し後1ヶ月は何かしらのトラブルで病院にかかるものだとお考えください。